

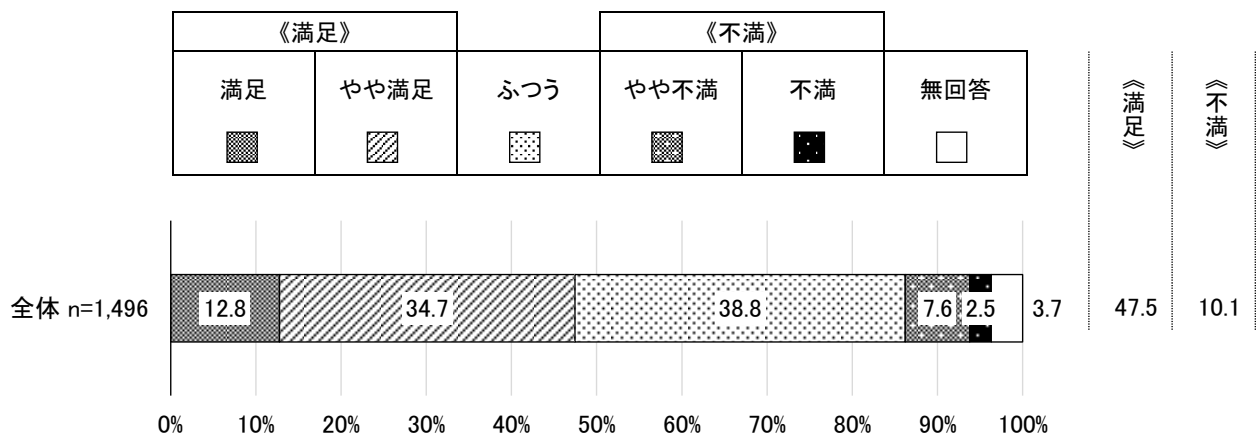
2 産業・観光について

(1) 川越市の観光への満足度

◇ 《満足》が47.5%

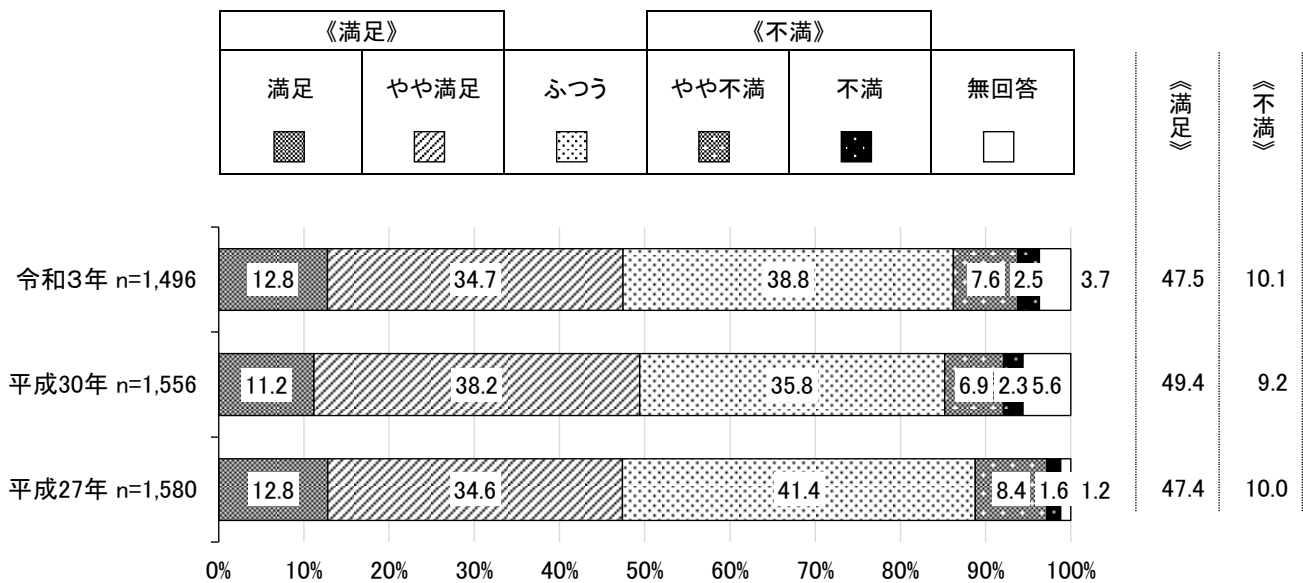
問7 あなたは、川越市の観光について、どのように感じていますか。(1つのみ)

川越市の観光への満足度については、「満足」、「やや満足」の合計値《満足》が47.5%である一方、「やや不満」、「不満」の合計値《不満》は10.1%と、《満足》が37.4ポイント上回っている。



■時系列での比較

時系列でみると、《満足》は前回調査より1.9ポイント減少し、《不満》は0.9ポイント増加している。



(2) 川越市の観光スポット・伝統行事の周知状況

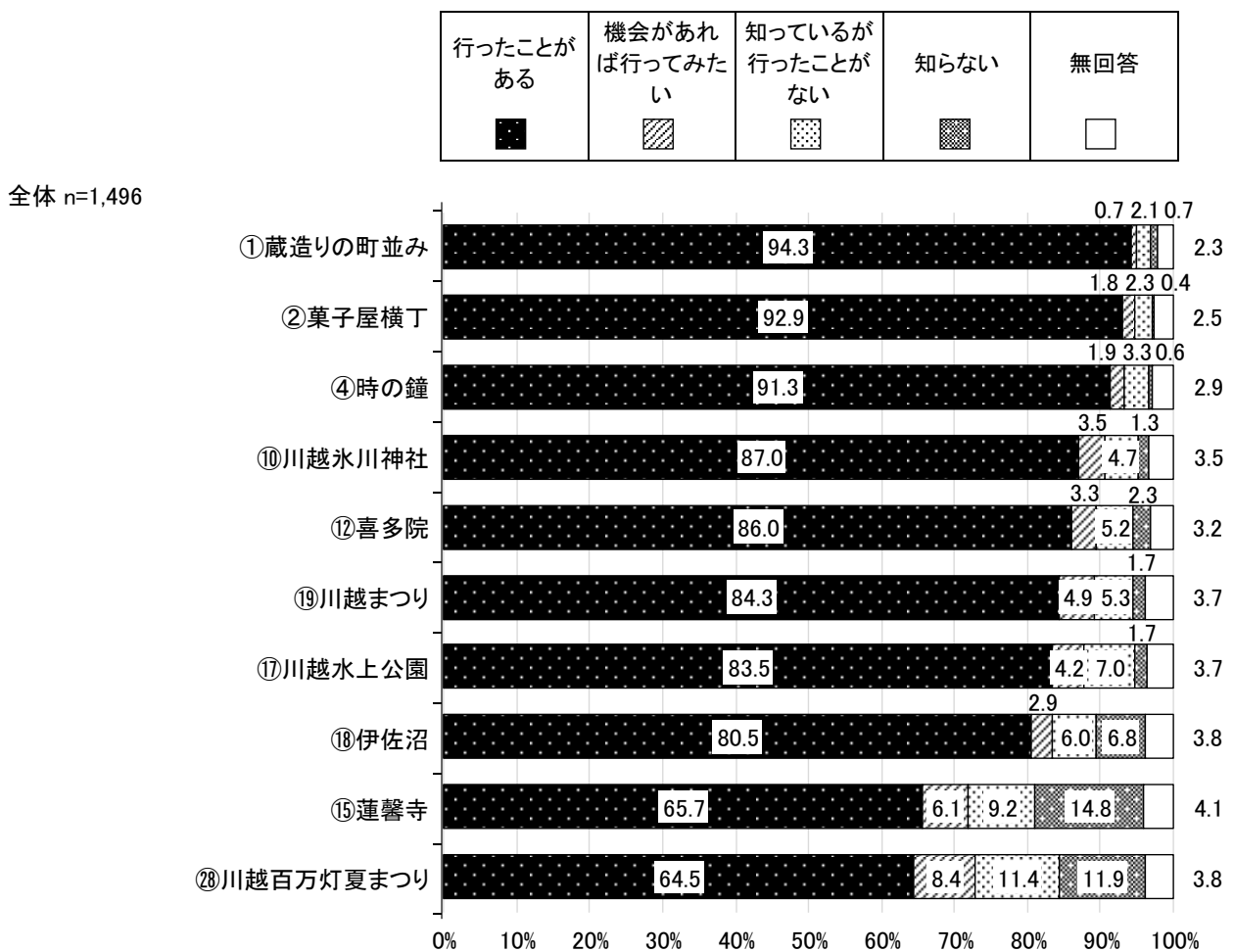
◇「行ったことがある」は“①蔵造りの町並み”が94.3%

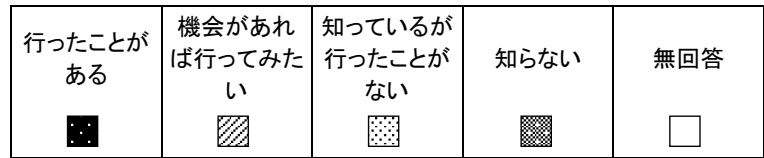
問8 市内には多くの観光スポットや伝統行事がありますが行ったこと（見たこと）がありますか。また、①から⑳の項目で次世代に残したいと思うもの（文化財）を3つ選んで回答欄に項目番号を記入してください。

※①から⑳のそれぞれに回答してください。（それぞれ1つのみ）

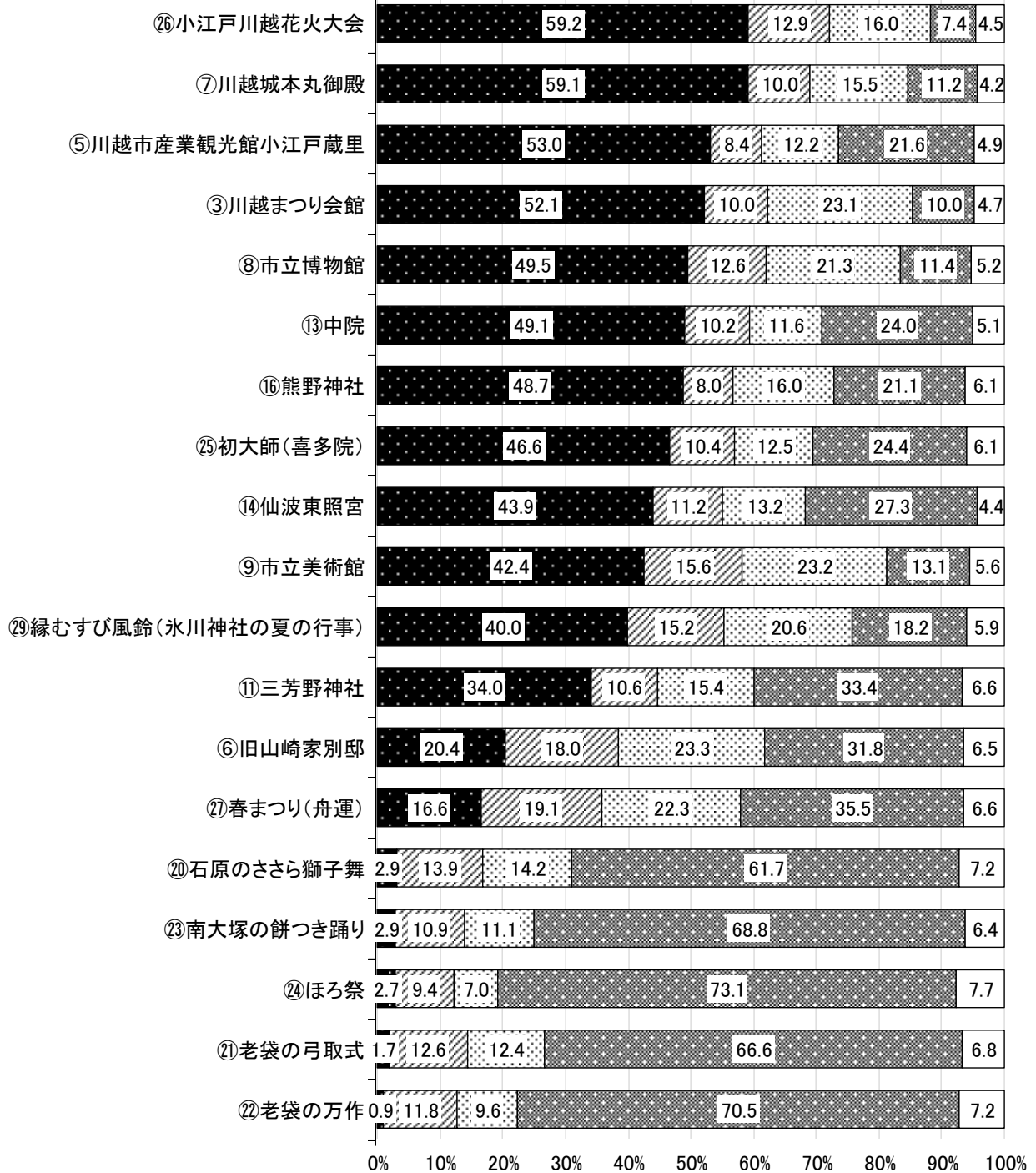
川越市の観光スポット・伝統行事の周知状況について、「行ったことがある」では、『①蔵造りの町並み』が94.3%で最も高く、次いで『②菓子屋横丁』が92.9%、『④時の鐘』が91.3%、『⑩川越氷川神社』が87.0%となっている。なお、3項目で9割以上、14項目で5割以上となっている。

「機会があれば行ってみたい」では、『⑳春まつり（舟運）』が19.1%で最も高くなっている。また、「知っているが行ったことがない」では、『⑥旧山崎家別邸』が23.3%で最も高くなっている。一方で、「知らない」では、『④ほろ祭』が73.1%で最も高く、次いで『②老袋の万作』が70.5%、『③南大塚の餅つき踊り』が68.8%、『②老袋の弓取式』が66.6%となっている。





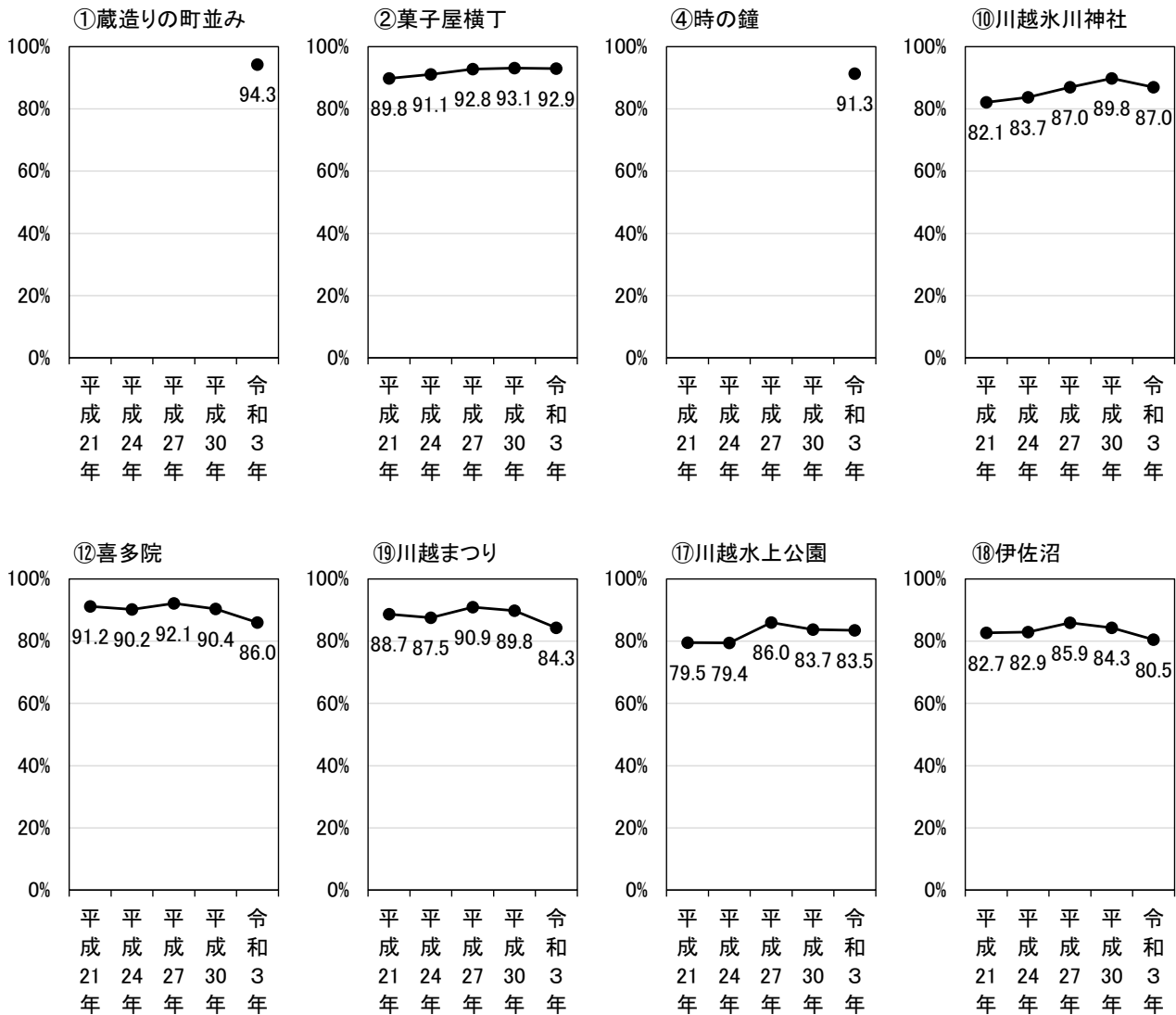
全体 n=1,496



■時系列での比較（「行ったことがある」上位8項目）

「行ったことがある」の上位8項目を時系列で見ると、平成27年以降、『⑫喜多院』、『⑬川越まつり』、『⑭川越水上公園』、『⑮伊佐沼』は減少傾向となっている。

また、『⑩川越氷川神社』は平成30年まで増加傾向であったものの、令和3年には減少傾向に転じている。



※「①蔵造りの町並み」、「④時の鐘」は、令和3年より個別の選択肢へと変更した。

■性別・年代別（「行ったことがある」上位10項目）

「行ったことがある」の上位10項目を性別・年代別で見ると、『①蔵造りの町並み』はすべての年代で9割台となっている。

	① 蔵造りの町並み	② 菓子屋横丁	④ 時の鐘	⑩ 川越氷川神社	⑫ 喜多院
単位：%					
全体 n=1,496	94.3	92.9	91.3	87.0	86.0

【性別・年代別】

男性 n=593	94.4	91.2	89.5	85.5	86.5
男性_18・19歳 n=4	100.0	100.0	100.0	100.0	75.0
男性_20歳代 n=67	95.5	92.5	85.1	80.6	83.6
男性_30歳代 n=85	95.3	92.9	94.1	82.4	76.5
男性_40歳代 n=121	93.4	90.9	88.4	86.0	86.0
男性_50歳代 n=95	95.8	90.5	94.7	84.2	92.6
男性_60歳代 n=101	93.1	86.1	86.1	86.1	88.1
男性_70歳以上 n=118	94.1	94.1	88.1	89.8	89.8

女性 n=874	94.4	94.4	92.8	88.1	85.9
女性_18・19歳 n=13	92.3	92.3	92.3	92.3	84.6
女性_20歳代 n=109	91.7	93.6	91.7	84.4	73.4
女性_30歳代 n=160	96.9	95.0	92.5	89.4	80.0
女性_40歳代 n=171	96.5	95.9	94.7	89.5	91.2
女性_50歳代 n=110	94.5	94.5	94.5	85.5	88.2
女性_60歳代 n=137	93.4	95.6	92.0	89.1	89.1
女性_70歳以上 n=172	93.0	92.4	91.9	89.5	90.1

	⑬ 川越まつり	⑰ 川越水上公園	⑱ 伊佐沼	⑮ 蓮馨寺	⑳ 川越百万灯夏まつり
単位：%					
全体 n=1,496	84.3	83.5	80.5	65.7	64.5

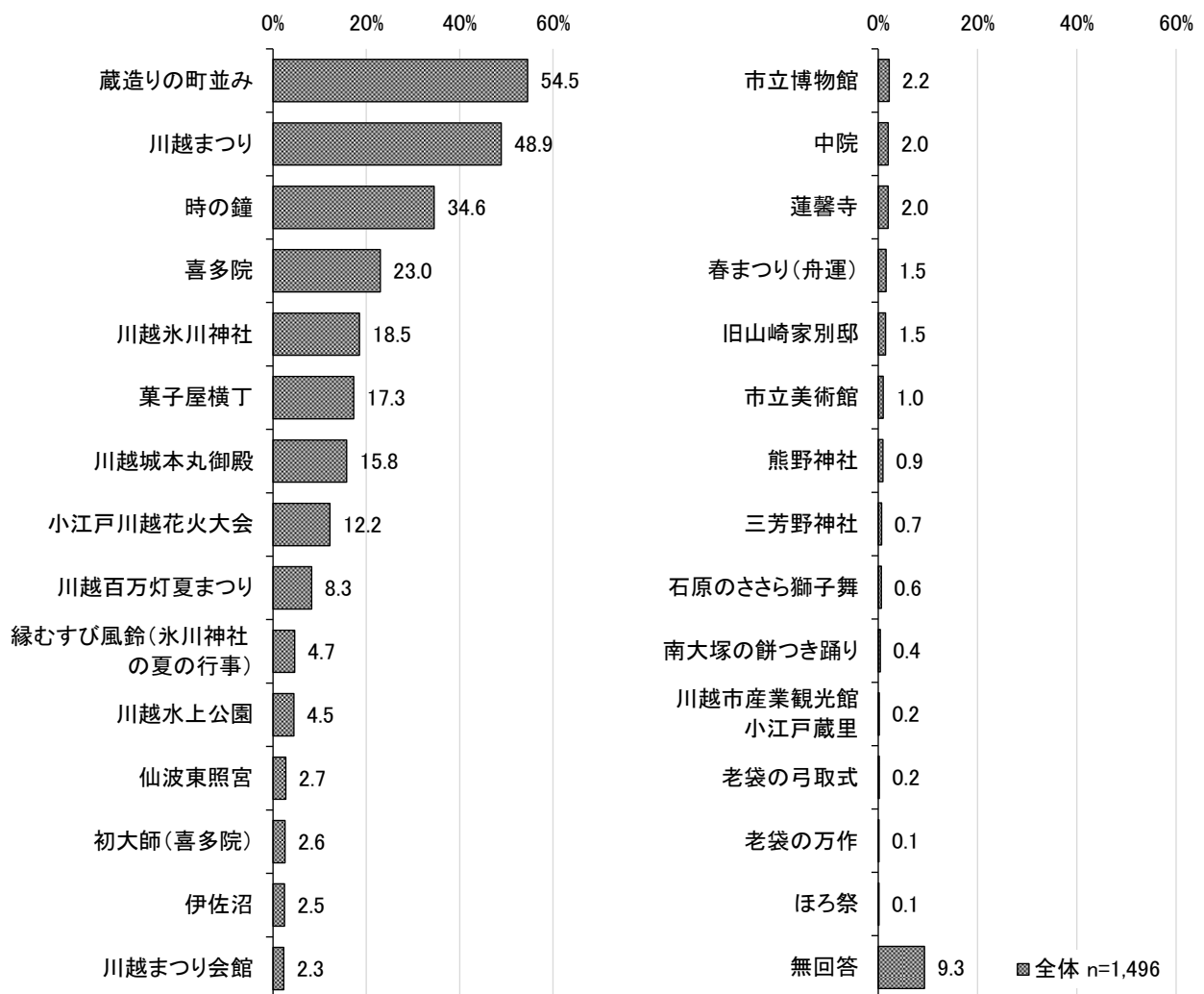
【性別・年代別】

男性 n=593	86.2	83.1	79.4	63.7	58.9
男性_18・19歳 n=4	100.0	100.0	100.0	100.0	75.0
男性_20歳代 n=67	85.1	82.1	61.2	52.2	53.7
男性_30歳代 n=85	88.2	84.7	77.6	44.7	60.0
男性_40歳代 n=121	82.6	84.3	86.8	57.0	62.0
男性_50歳代 n=95	85.3	85.3	84.2	72.6	62.1
男性_60歳代 n=101	87.1	79.2	75.2	68.3	54.5
男性_70歳以上 n=118	88.1	83.1	82.2	78.0	59.3

女性 n=874	83.4	84.0	81.4	67.4	68.5
女性_18・19歳 n=13	92.3	92.3	92.3	76.9	84.6
女性_20歳代 n=109	75.2	77.1	68.8	53.2	62.4
女性_30歳代 n=160	78.8	82.5	73.1	51.3	60.6
女性_40歳代 n=171	88.9	92.4	91.2	70.8	74.9
女性_50歳代 n=110	80.0	80.9	82.7	67.3	68.2
女性_60歳代 n=137	86.1	86.1	80.3	73.0	70.8
女性_70歳以上 n=172	86.6	81.4	86.0	83.1	71.5

■ 次世代に残したいと思う文化財

次世代に残したいと思う文化財については、「蔵造りの町並み」が54.5%で最も高く、次いで「川越まつり」が48.9%、「時の鐘」が34.6%、「喜多院」が23.0%となっている。

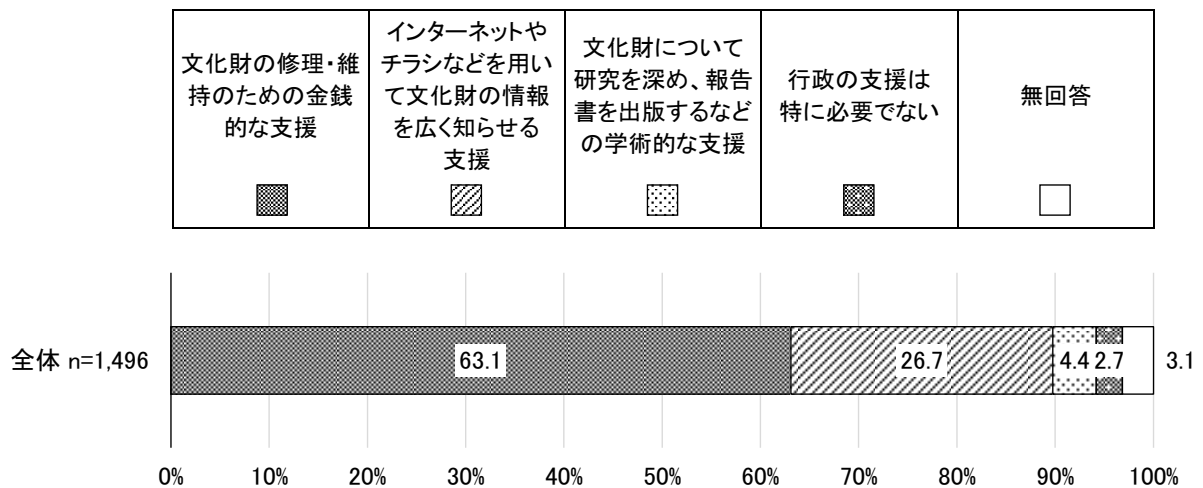


(3) 文化財の保護のため、行政が行うべき支援

◇「文化財の修理・維持のための金銭的な支援」が63.1%

問9 文化財の保護のため、行政が行うべき支援は何だと思えますか。(1つのみ)

文化財の保護のため、行政が行うべき支援については、「文化財の修理・維持のための金銭的な支援」が63.1%で最も高く、次いで「インターネットやチラシなどを用いて文化財の情報を広く知らせる支援」が26.7%、「文化財について研究を深め、報告書を出版するなどの学術的な支援」が4.4%、「行政の支援は特に必要でない」が2.7%となっている。

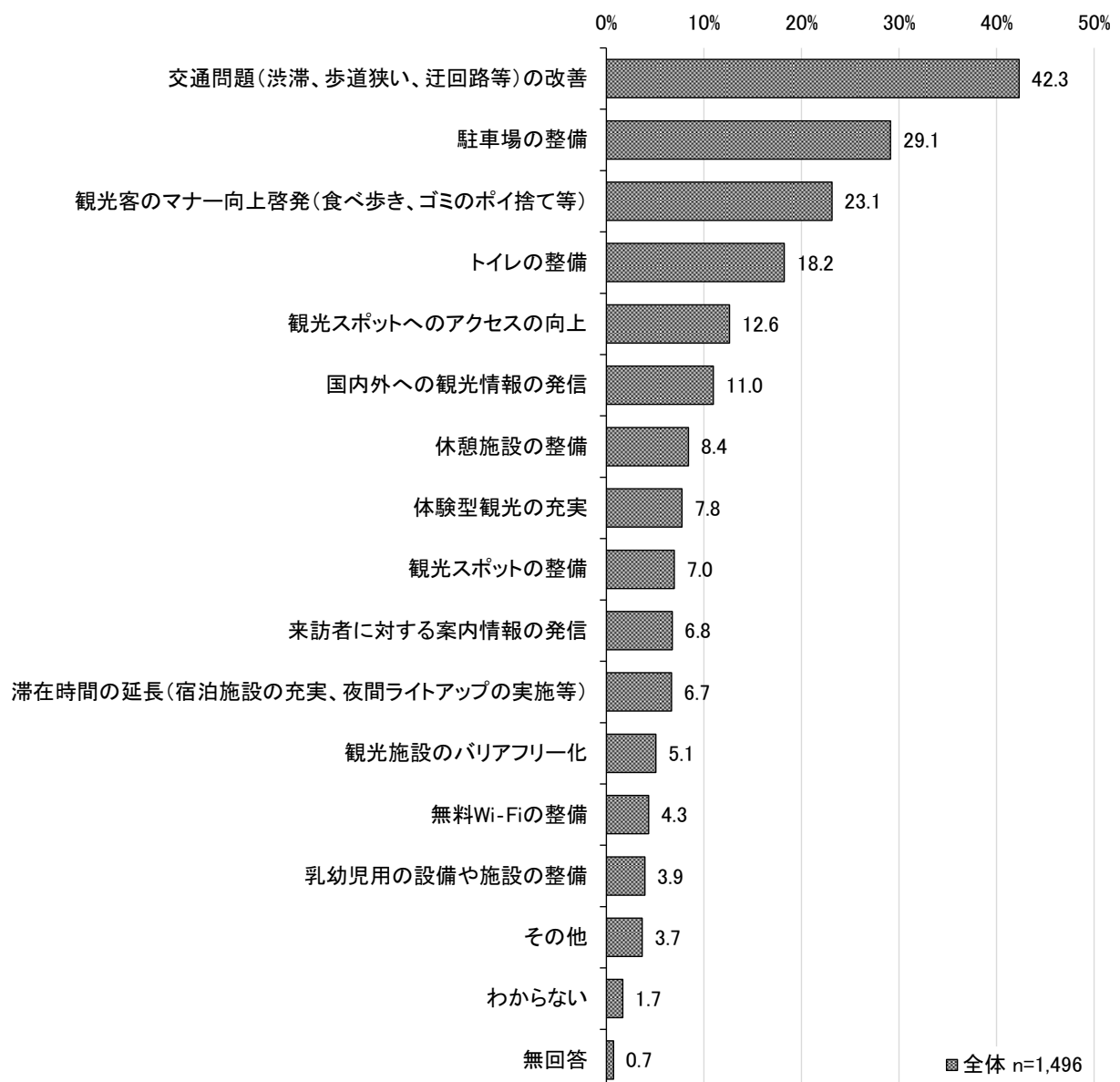


(4) 観光振興のために必要な施策

◇「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」が42.3%

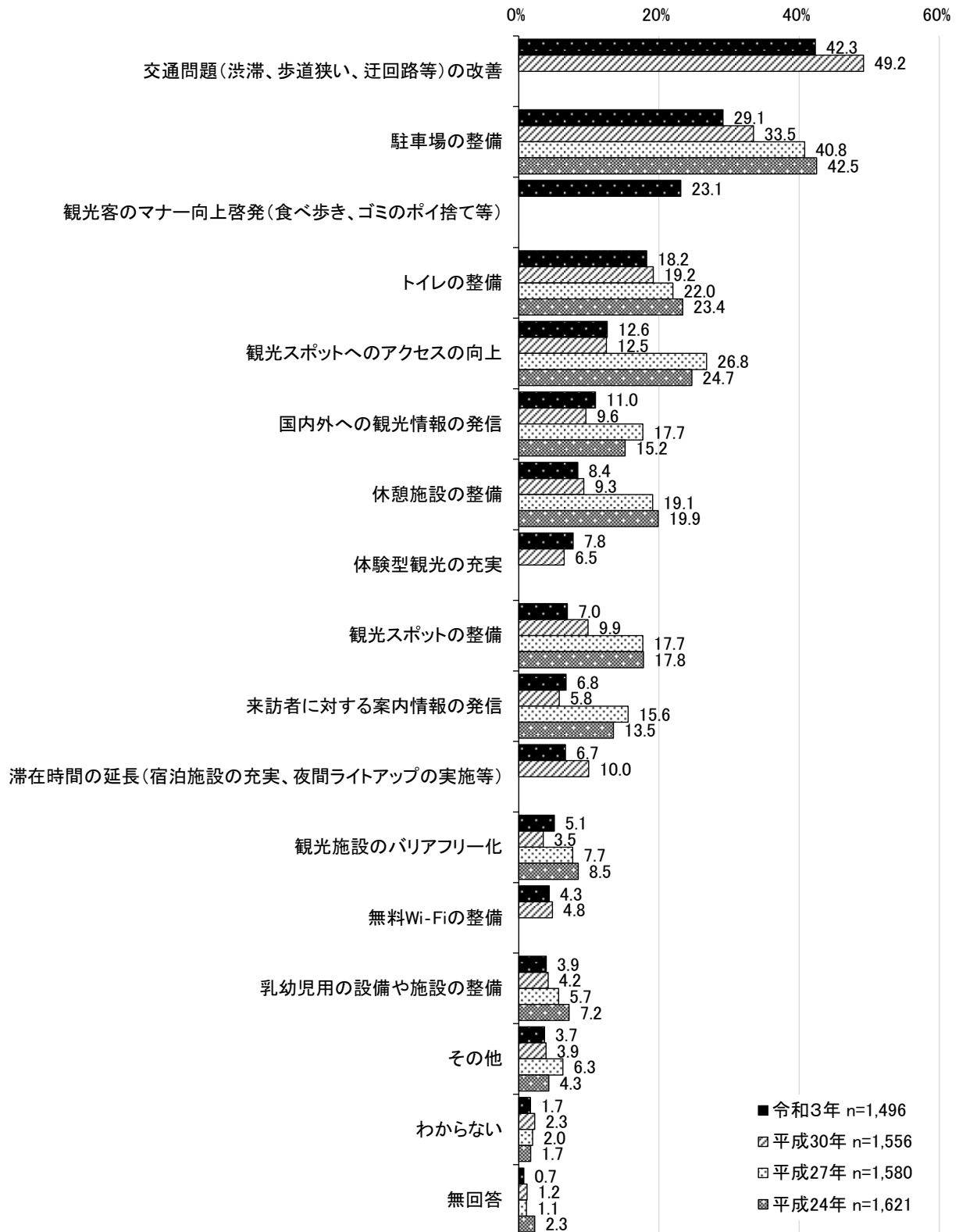
問 10 あなたは、ますます観光客が多く訪れる街になるためにどのような施策が必要だと思いますか。次の中から2つ以内で選んでください。（2つまで）

観光振興のために必要だと思う施策については、「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」が42.3%で最も高く、次いで「駐車場の整備」が29.1%、「観光客のマナー向上啓発（食べ歩き、ゴミのポイ捨て等）」が23.1%、「トイレの整備」が18.2%となっている。



■時系列での比較

平成 24 年と比較できる項目をみると、すべての項目で令和 3 年の割合が下回る結果となっている。
 また、特に減少傾向がみられる項目としては、「駐車場の整備」で 13.4 ポイント、「観光スポットへのアクセスの向上」で 12.1 ポイント、「休憩施設の整備」で 11.5 ポイントの減少となっている。



※「交通問題(渋滞、歩道狭い、迂回路等)の改善」、「体験型観光の充実」、「滞在時間の延長(宿泊施設の充実、夜間ライトアップの実施等)」、「無料 Wi-Fi の整備」は、平成 30 年から追加された選択肢。

※「観光客のマナー向上啓発(食べ歩き、ゴミのポイ捨て等)」は、令和3年から追加された選択肢。

■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善」は男性40歳代で5割を超えて高くなっている。「駐車場の整備」は男性60歳代で4割近くと高くなっている。「観光客のマナー向上啓発（食べ歩き、ゴミのポイ捨て等）」は女性50歳代で3割半ばと高くなっている。

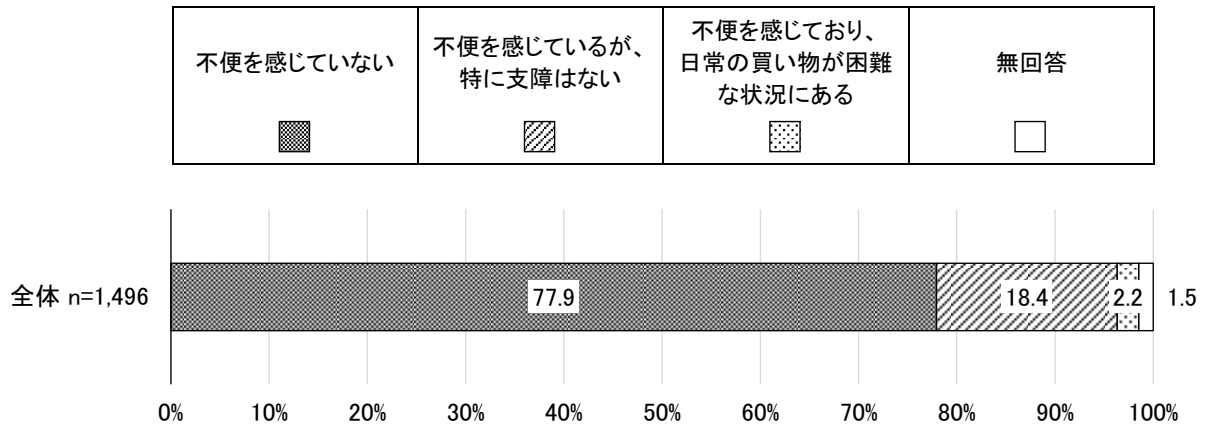
	交通問題（渋滞、歩道狭い、迂回路等）の改善	駐車場の整備	観光客のマナー向上啓発（食べ歩き、ゴミのポイ捨て等）	トイレの整備	観光スポットへのアクセスの向上	国内外への観光情報の発信
単位：%						
全体 n=1,496	42.3	29.1	23.1	18.2	12.6	11.0
【性別・年代別】						
男性 n=593	43.7	31.2	19.2	17.2	15.0	12.6
男性_18・19歳 n=4	50.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
男性_20歳代 n=67	44.8	28.4	20.9	14.9	16.4	13.4
男性_30歳代 n=85	48.2	22.4	11.8	17.6	20.0	9.4
男性_40歳代 n=121	52.1	33.1	17.4	16.5	9.9	7.4
男性_50歳代 n=95	34.7	31.6	20.0	13.7	13.7	15.8
男性_60歳代 n=101	42.6	37.6	20.8	16.8	16.8	11.9
男性_70歳以上 n=118	39.8	31.4	23.7	22.0	14.4	18.6
女性 n=874	41.3	27.8	25.5	18.5	11.0	10.1
女性_18・19歳 n=13	23.1	0.0	38.5	23.1	7.7	23.1
女性_20歳代 n=109	40.4	29.4	19.3	23.9	5.5	4.6
女性_30歳代 n=160	41.3	27.5	16.9	16.3	13.1	10.6
女性_40歳代 n=171	43.9	26.9	21.1	17.5	13.5	7.6
女性_50歳代 n=110	44.5	27.3	35.5	11.8	11.8	10.9
女性_60歳代 n=137	44.5	28.5	28.5	19.0	9.5	11.7
女性_70歳以上 n=172	36.0	30.2	32.6	22.1	11.0	12.2

(5) 買い物の状況

◇「不便を感じていない」が77.9%

問 11 食料品等の日常の買い物で不便を感じていますか。(1つのみ)

買い物の状況については、「不便を感じていない」が77.9%で最も高く、次いで「不便を感じているが、特に支障はない」が18.4%、「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」が2.2%となっている。



■ 居住地区別

居住地区別でみると、「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」では、『古谷地区』が10.3%で最も高く、次いで『山田地区』が5.2%、『芳野地区』が4.9%となっている。

単位: %	不便を感じていない	不便を感じているが、特に支障はない	不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある	無回答
全体 n=1,496	77.9	18.4	2.2	1.5
【居住地区別】				
本庁地区 n=316	91.8	6.3	1.3	0.6
芳野地区 n=41	51.2	41.5	4.9	2.4
古谷地区 n=58	51.7	32.8	10.3	5.2
南古谷地区 n=135	79.3	17.0	2.2	1.5
高階地区 n=189	79.4	18.0	2.1	0.5
福原地区 n=78	69.2	28.2	0.0	2.6
大東地区 n=139	74.8	22.3	0.7	2.2
霞ヶ関地区 n=175	80.6	17.1	2.3	0.0
川鶴地区 n=75	77.3	18.7	0.0	4.0
霞ヶ関北地区 n=48	89.6	8.3	0.0	2.1
名細地区 n=100	68.0	29.0	3.0	0.0
山田地区 n=77	71.4	20.8	5.2	2.6

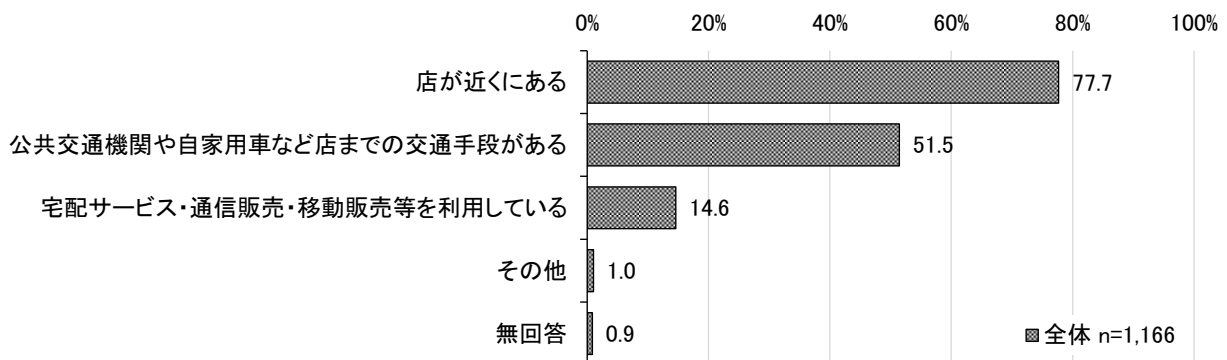
(6) 買い物で不便を感じていない理由

◇「店が近くにある」が77.7%

【問 11 で「不便を感じていない」と回答した方におたずねします。】

問 11-1 あなたが日常の買い物に不便を感じていない理由は何ですか。(いくつでも)

日常の買い物に不便を感じていない理由については、「店が近くにある」が77.7%で最も高く、次いで「公共交通機関や自家用車など店までの交通手段がある」が51.5%、「宅配サービス・通信販売・移動販売等を利用している」が14.6%となっている。



■居住地区別

居住地区別でみると、「店が近くにある」では、『霞ヶ関北地区』が93.0%で最も高く、次いで『本庁地区』が90.7%、『川鶴地区』が86.2%となっている。

単位: %	店が近くにある	公共交通機関や自家用車など店までの交通手段がある	宅配サービス・通信販売・移動販売等を利用している	その他	無回答
全体 n=1,166	77.7	51.5	14.6	1.0	0.9
【居住地区別】					
本庁地区 n=290	90.7	38.6	12.4	0.3	0.3
芳野地区 n=21	28.6	76.2	14.3	0.0	9.5
古谷地区 n=30	46.7	56.7	20.0	0.0	6.7
南古谷地区 n=107	79.4	48.6	14.0	0.0	0.0
高階地区 n=150	75.3	50.0	12.0	1.3	2.0
福原地区 n=54	70.4	70.4	16.7	0.0	0.0
大東地区 n=104	73.1	53.8	11.5	1.0	0.0
霞ヶ関地区 n=141	76.6	62.4	12.8	1.4	0.0
川鶴地区 n=58	86.2	60.3	31.0	3.4	0.0
霞ヶ関北地区 n=43	93.0	37.2	11.6	0.0	0.0
名細地区 n=68	52.9	66.2	20.6	4.4	0.0
山田地区 n=55	69.1	63.6	14.5	1.8	0.0

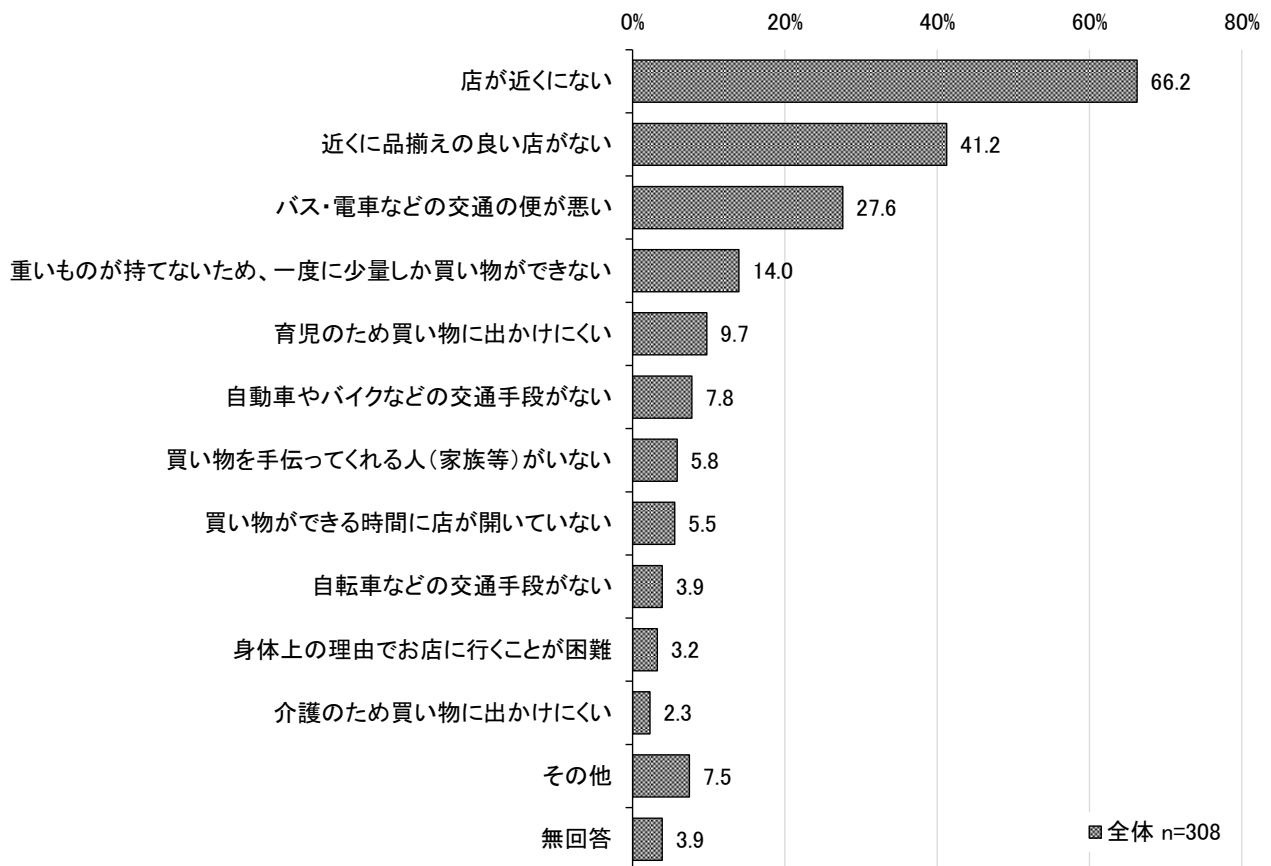
(7) 買い物で不便を感じている理由

◇「店が近くにない」が66.2%

【問 11 で「不便を感じているが、特に支障はない」「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」と回答した方におたずねします。】

問 11-2 あなたが日常の買い物で不便を感じている理由は何ですか。(いくつでも)

日常の買い物で不便を感じている理由については、「店が近くにない」が66.2%で最も高く、次いで「近くに品揃えの良い店がない」が41.2%、「バス・電車などの交通の便が悪い」が27.6%、「重いものが持てないため、一度に少量しか買い物ができない」が14.0%となっている。



■居住地区別（上位6項目）

上位6項目を居住地区別で見ると、「店が近くにない」では、『名細地区』が84.4%で最も高く、次いで『古谷地区』が76.0%、『福原地区』が72.7%となっている。

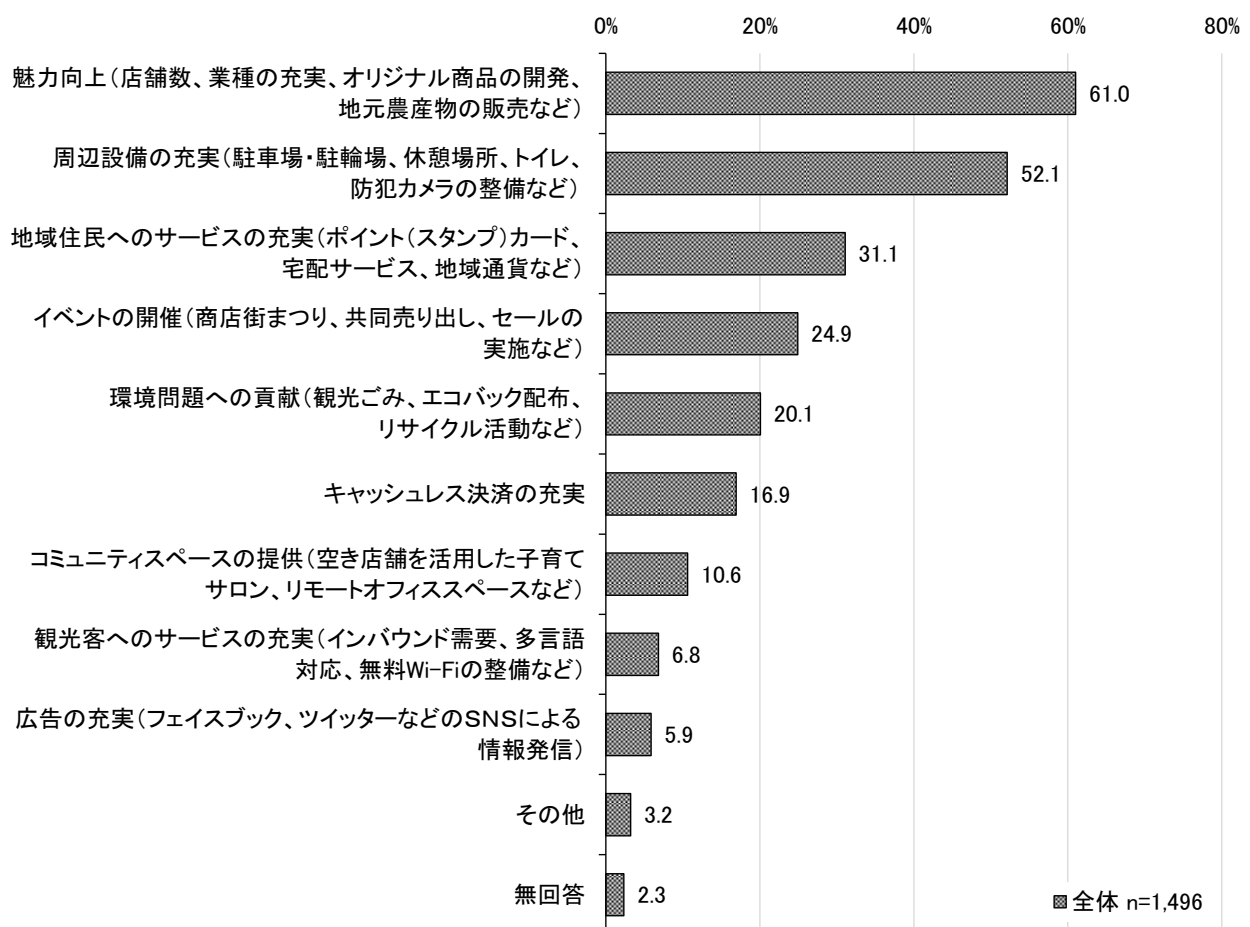
単位：%	店が近くにない	近くに品揃えの良い店がない	バス・電車などの交通の便が悪い	重いものが持てないため、一度に少量しか買い物ができない	育児のため買い物に出かけにくい	自動車やバイクなどの交通手段がない
全体 n=308	66.2	41.2	27.6	14.0	9.7	7.8
【居住地区別】						
本庁地区 n=24	45.8	41.7	25.0	20.8	8.3	16.7
芳野地区 n=19	94.7	36.8	47.4	0.0	10.5	5.3
古谷地区 n=25	76.0	40.0	32.0	16.0	4.0	8.0
南古谷地区 n=26	57.7	30.8	23.1	11.5	3.8	11.5
高階地区 n=38	65.8	50.0	15.8	15.8	18.4	13.2
福原地区 n=22	72.7	31.8	36.4	18.2	9.1	0.0
大東地区 n=32	65.6	46.9	31.3	18.8	9.4	3.1
霞ヶ関地区 n=34	52.9	38.2	17.6	20.6	8.8	5.9
川鶴地区 n=14	57.1	42.9	42.9	7.1	0.0	14.3
霞ヶ関北地区 n=4	50.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0
名細地区 n=32	84.4	43.8	25.0	3.1	9.4	0.0
山田地区 n=20	65.0	30.0	35.0	5.0	25.0	10.0

(8) 商店街に望むこと

◇「魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など）」が61.0%

問 12 商店街にどのようなことを望みますか。次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)

商店街に望むことについては、「魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など）」が61.0%で最も高く、次いで「周辺設備の充実（駐車場・駐輪場、休憩場所、トイレ、防犯カメラの整備など）」が52.1%、「地域住民へのサービスの充実（ポイント（スタンプ）カード、宅配サービス、地域通貨など）」が31.1%、「イベントの開催（商店街まつり、共同売り出し、セールの実施など）」が24.9%となっている。



■年代別（上位6項目）

上位6項目を年代別で見ると、「環境問題への貢献（観光ごみ、エコバック配布、リサイクル活動など）」は年代が高くなるほど増加傾向である一方で、「キャッシュレス決済の充実」は年代が低くなるほど増加傾向となっている。

魅力向上(店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など)	周辺設備の充実(駐車場・駐輪場、休憩場所、トイレ、防犯カメラの整備など)	地域住民へのサービスの充実(ポイント(スタンプ)カード、宅配サービス、地域通貨など)	イベントの開催(商店街まつり、共同売り出し、セールの実施など)	環境問題への貢献(観光ごみ、エコバック配布、リサイクル活動など)	キャッシュレス決済の充実	
単位: %						
全体 n=1,496	61.0	52.1	31.1	24.9	20.1	16.9
【年代別】						
18・19歳 n=17	64.7	64.7	35.3	29.4	23.5	11.8
20歳代 n=176	61.9	47.7	27.3	31.8	14.8	26.1
30歳代 n=246	58.9	51.6	32.9	29.3	15.9	26.8
40歳代 n=297	63.6	49.2	30.3	27.6	16.8	21.9
50歳代 n=206	59.7	46.1	34.0	21.4	24.3	12.1
60歳代 n=240	60.8	60.0	35.4	17.9	23.3	12.5
70歳以上 n=291	61.9	56.7	27.8	22.0	24.4	5.5

■居住地区別（上位6項目）

上位6項目を居住地区別で見ると、「魅力向上（店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など）」では、『川鶴地区』が68.0%で最も高く、次いで『霞ヶ関地区』が66.9%、『高階地区』が66.1%となっている。

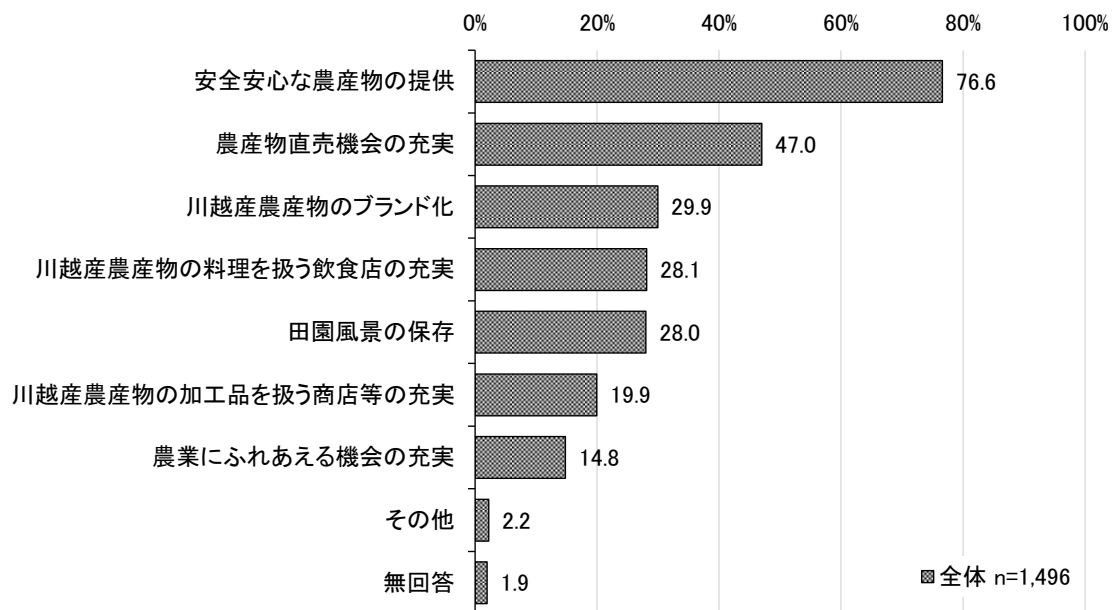
魅力向上(店舗数、業種の充実、オリジナル商品の開発、地元農産物の販売など)	周辺設備の充実(駐車場・駐輪場、休憩場所、トイレ、防犯カメラの整備など)	地域住民へのサービスの充実(ポイント(スタンプ)カード、宅配サービス、地域通貨など)	イベントの開催(商店街まつり、共同売り出し、セールの実施など)	環境問題への貢献(観光ごみ、エコバック配布、リサイクル活動など)	キャッシュレス決済の充実	
単位: %						
全体 n=1,496	61.0	52.1	31.1	24.9	20.1	16.9
【居住地区別】						
本庁地区 n=316	65.2	51.9	35.1	21.2	26.3	13.6
芳野地区 n=41	46.3	53.7	29.3	19.5	31.7	19.5
古谷地区 n=58	55.2	62.1	24.1	17.2	22.4	13.8
南古谷地区 n=135	60.0	48.1	36.3	31.9	16.3	22.2
高階地区 n=189	66.1	48.1	27.5	24.9	21.7	22.2
福原地区 n=78	57.7	74.4	26.9	21.8	19.2	15.4
大東地区 n=139	61.9	56.1	25.9	25.9	15.1	18.7
霞ヶ関地区 n=175	66.9	52.0	26.9	27.4	16.6	16.6
川鶴地区 n=75	68.0	48.0	40.0	28.0	10.7	14.7
霞ヶ関北地区 n=48	56.3	41.7	27.1	25.0	16.7	14.6
名細地区 n=100	66.0	53.0	32.0	22.0	17.0	17.0
山田地区 n=77	41.6	57.1	46.8	27.3	20.8	11.7

(9) 農業に期待すること

◇「安全安心な農産物の提供」が76.6%

問 13 あなたが農業に期待することは何ですか。(いくつでも)

農業に期待することについては、「安全安心な農産物の提供」が76.6%で最も高く、次いで「農産物直売機会の充実」が47.0%、「川越産農産物のブランド化」が29.9%、「川越産農産物の料理を扱う飲食店の充実」が28.1%となっている。



■性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別で見ると、「安全安心な農産物の提供」はすべての年代で女性が男性の割合を上回っている。「農産物直売機会の充実」は、女性は年代が高くなるほど増加傾向となり、女性の50歳代から70歳以上は6割近くと高くなっている。「川越産農産物のブランド化」は男性30歳代が4割を超えて高くなっている。

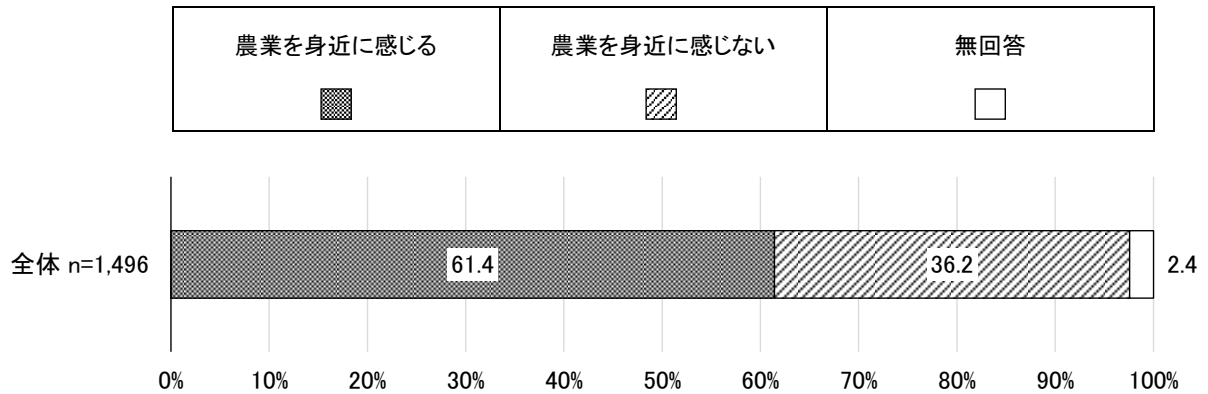
	安全安心な農産物の提供	農産物直売機会の充実	川越産農産物のブランド化	川越産農産物の料理を扱う飲食店の充実	田園風景の保存	川越産農産物の加工品を扱う商店等の充実
単位：%						
全体 n=1,496	76.6	47.0	29.9	28.1	28.0	19.9
【性別・年代別】						
男性 n=593	69.3	40.8	35.1	30.0	28.0	21.9
男性_18・19歳 n=4	75.0	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0
男性_20歳代 n=67	70.1	23.9	34.3	28.4	35.8	17.9
男性_30歳代 n=85	67.1	42.4	42.4	38.8	28.2	17.6
男性_40歳代 n=121	57.0	29.8	37.2	32.2	22.3	24.8
男性_50歳代 n=95	72.6	53.7	40.0	32.6	25.3	22.1
男性_60歳代 n=101	75.2	42.6	32.7	28.7	25.7	20.8
男性_70歳以上 n=118	74.6	49.2	25.4	22.0	33.1	25.4
女性 n=874	82.0	50.6	26.8	27.2	27.8	18.8
女性_18・19歳 n=13	92.3	23.1	30.8	30.8	38.5	38.5
女性_20歳代 n=109	77.1	32.1	32.1	30.3	26.6	17.4
女性_30歳代 n=160	78.8	47.5	28.1	30.6	25.6	15.6
女性_40歳代 n=171	87.1	50.9	26.3	35.1	24.6	22.8
女性_50歳代 n=110	83.6	57.3	30.0	33.6	25.5	21.8
女性_60歳代 n=137	82.5	57.7	28.5	13.9	30.7	16.8
女性_70歳以上 n=172	81.4	57.6	18.6	20.3	32.6	16.3

(10) 農業を身近に感じるか

◇「農業を身近に感じる」が61.4%

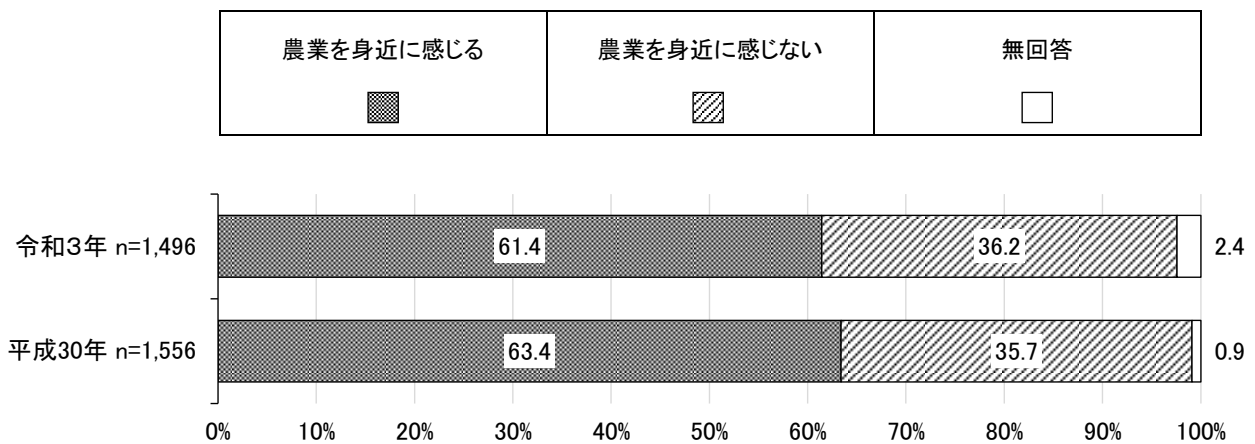
問 14 農業を身近に感じますか。(地場農産物の購入や市民農園の利用、田園風景などを通じて、暮らしの中で農業を身近に感じますか) (1つのみ)

農業を身近に感じているかについては、「農業を身近に感じる」が61.4%、「農業を身近に感じない」が36.2%と、「農業を身近に感じる」が25.2ポイント上回っている。



■時系列での比較

時系列でみると、「農業を身近に感じる」は前回調査より2.0ポイント減少している。



■ 性別・年代別

性別・年代別でみると、「農業を身近に感じる」は女性 70 歳以上で約 7 割と高くなっている。一方で、「農業を身近に感じない」は男性 20 歳代で 5 割近くと高くなっている。

	農業を身近に 感じる	農業を身近に 感じない	無回答
単位: %			
全体 n=1,496	61.4	36.2	2.4
【性別・年代別】			
男性 n=593	60.9	37.3	1.9
男性_18・19歳 n=4	50.0	50.0	0.0
男性_20歳代 n=67	52.2	47.8	0.0
男性_30歳代 n=85	61.2	38.8	0.0
男性_40歳代 n=121	55.4	43.0	1.7
男性_50歳代 n=95	60.0	37.9	2.1
男性_60歳代 n=101	65.3	32.7	2.0
男性_70歳以上 n=118	68.6	27.1	4.2
女性 n=874	62.0	35.5	2.5
女性_18・19歳 n=13	30.8	69.2	0.0
女性_20歳代 n=109	55.0	43.1	1.8
女性_30歳代 n=160	56.9	41.3	1.9
女性_40歳代 n=171	66.7	32.2	1.2
女性_50歳代 n=110	59.1	38.2	2.7
女性_60歳代 n=137	62.8	34.3	2.9
女性_70歳以上 n=172	70.9	24.4	4.7